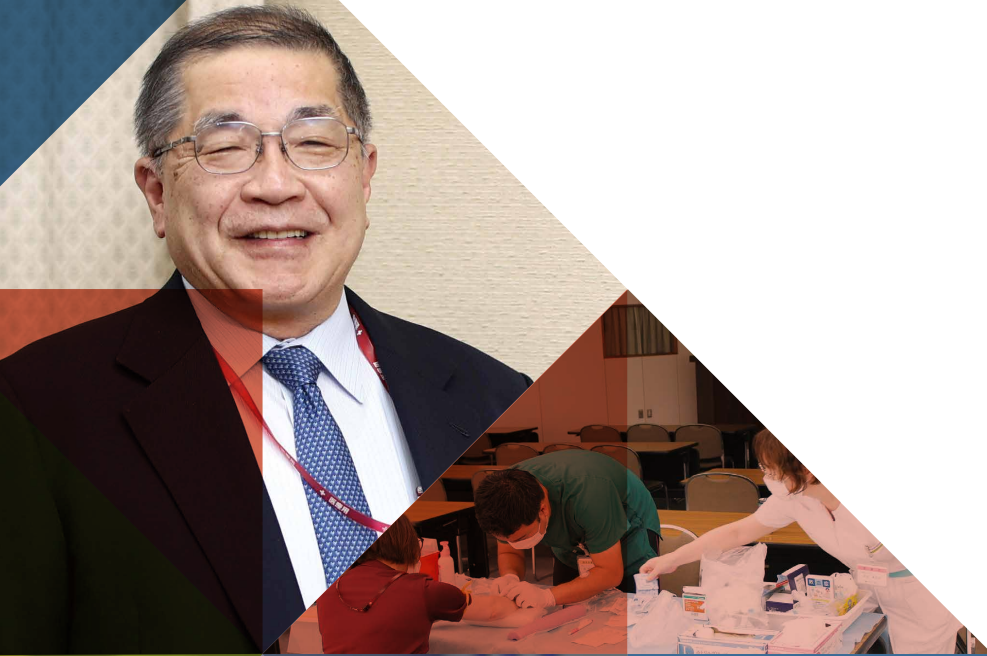


ろうさい かわら版

2025.1

vol. **70**

新春号



◆ 新年のご挨拶…………… P2

病院長 **篠原 信雄**

◆ 特定行為研修修了後の今…………… P3

看護師特定行為研修修了者 **橋本 昂宏**

特集① ◆ 神経内科について

～患者さん・かかりつけ医の先生へ～

…………… P4・5

神経内科 部長 **津坂 和文**

特集② ◆ 当院臨床研修病院について…………… P6・7

研修医 **青田 凌** / **水藤 達貴** / **谷口 陽**

◆ 令和7年 外来診療科担当医師一覧…………… P8

新年のご挨拶

病院長 篠原 信雄

しのはら のぶお



新年あけましておめでとうございます。皆様には穏やかな新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。地域の皆様に支えられ、釧路労災病院は今年も無事新年を迎えることができました。

長きにわたり猛威を振るった新型コロナウイルス感染症もひと段落ついたように思われましたが、完全になくなることはなく、相変わらずくすぶっています。そのため、労災病院においても新型コロナウイルス感染対策を緩和できず、あわせてインフルエンザや様々なウイルス感染対策をしっかり継続する状況にあります。皆様には様々なご不便をおかけしていると存じますが、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

私は2024年3月に長く勤務した北海道大学医学部(泌尿器科)を退職し、釧路労災病院に院長として赴任いたしました。来釧から約8か月がたち、春、夏、秋を経験してまいりましたが、いよいよ釧路の冬を経験することになります。札幌では冬といえば豪雪で、除雪が日課でしたが、釧路ではほとんど雪が降らないとのこと、その面ではいいなと思っています。ただいろいろな方に聞くと、とにかく寒いとのこと、十分な防寒対策をしてこの冬を乗り越え、美しい春の釧路(2回目になります)を迎えたいと思っています。

さて、釧路労災病院ですが、新型コロナウイルス感染症、働き方改革の導入、医師を含めた医療者の高齢化、地域医療を担う医療者の減少、病院経営の悪化など様々な問題を抱えています。釧路労災病院の職員全員が一丸となって、これらの問題に立ち向かっています。どれも大変な問題だと思いますが、その中でも地域医療を担う医療者(医師、看護師、薬剤師、臨床工学士、理学療法士、等)の不足が深刻な問題となっています。実際、看護師数が不足

し、病床数を減少させざるを得ない病院も見られます。この点は、当院だけの努力では解決するものでなく、釧根地域を中心とした医療圏全体で対策を立てるものだと思います。ただ、なかなか前に進まず、いつまでも手をこまねいているわけにはいきません。そのため、以前から実施していた「高校生のための医療体験セミナー」を、2023年以後再開(一時期コロナ禍で中断していました)し、釧根地区で生まれ育った若い人たちへの医療に対する啓発活動を行っています。セミナーでは、当院の全医療職種の方が協力して企画されています。このような企画を通して少しでも釧根地区で働く医療職の方が増えることを期待する多くの職員の気持ちが発露したものと思いますし、地道な努力が明日につながるものと期待しています。

最後になりましたが、令和7年(2025年)はいわゆる「医療の2025年問題」がスタートし、日本の医療体制に大きな変革が起こるとされています。実際、2025年には団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となり、医療や介護の需要が増加します。内閣府「令和4年版高齢社会白書」によると、2025年の高齢者人口は、65～74歳の前期高齢者が1,497万人、75歳以上の後期高齢者が2,180万人になるとされています。実に、国民の約3人に1人が65歳以上になると推測されています。そのような高齢者の急激な増加により医療の需要が高まるとされます。これにより、釧根地区においても医療にかかわるさまざまな問題が発生するかもしれませんが、職員一同、一丸となり地域医療を支え続ける所存です。本年もさらなるご支援、ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

釧路ろうさい病院の理念

最新の知識と技術に基づき、良質で信頼される医療を実践します。

基本方針

1. 安全で質の高い医療を実践します。
2. 患者さんの権利を尊重し、十分な説明と同意に基づく医療を実践します。
3. 透明性の高い医療を実践します。
4. 地域住民と勤労者の健康づくりのために、予防医療を実践します。

臨床倫理方針

1. 患者さんの人権を守ります。
2. 患者さんの自己決定権を尊重します。
3. 生命倫理に関する法律及びガイドラインを遵守して診療を行います。
4. 患者さんの信条や生命の尊厳に関する問題については審議を行い、治療方針を決定します。
5. 患者さんのプライバシーを遵守し、個人情報の保護を徹底します。

特定行為研修 修了後の今



はしもと たかひろ
看護師特定行為研修修了者 橋本 昂宏

私は2022年に呼吸器関連(人工呼吸療法に係るもの)特定行為研修を修了しました。この区分は、人工呼吸器を装着している患者さんに対して、

人工呼吸器の設定を状態に合わせて変更したり、鎮静剤、鎮痛剤の投与量の調整、また人工呼吸器からの離脱と

いった行為を医師の到着を待たずに実施することが出来ます。

私がこの分野の特定行為研修を受講しようと思ったきっかけについてお話します。

元々急性期看護に興味はありましたが、集中ケアや人工呼吸器管理に対して漠然とした苦手意識もありました。しかし今後自分が看護師として長く働いていく上では、苦手な事に向き合い、専門性の高い看護実践能力を身に付けていく姿勢が必要だと考えました。救急・集中領域では患者さんの状態が刻一刻と変化しやすく、早急に対処が必要なケースが多々あります。これまでは医師が不在の場合に医師の到着を待たなくてはならず、タイムリーな対応が出来ないことに対して焦りやジレンマを感じることもありました。そこで特定行為を習得する事でジレンマを解消し、患者の苦痛も最小限に出

来ると考え、この区分を受講することに決めました。研修修了後は、手順書(医師が看護師に特定行為を行わせるためにその指示として作成する文書)に沿って人工呼吸器の設定を変更することが出来るようになりました。これまでは昼夜問わず医師の到着を待って実施していた行為が、看護師で実施出来るようになったことで医師から「非常に助かった」というお声を頂くこともあります。

人工呼吸器は患者さんにとって侵襲度の高い医療処置です。そのため、責任の大きさは感じますが、なにより患者さんの苦痛を最小限にできることが看護師としてのやりがいに繋がっています。特定行為は医師のタスクシフト(医師の業務の一部を他職種に移管すること)を目的とされていますが、そのみならず、

看護師の新しい働き方の1つとして同僚や後輩などのロールモデルとなれるよう活動していきたいと思えます。





神経内科について

～患者さん・かかりつけ医の先生へ～

神経内科について

神経内科は神経系の異常を、内科的なアプローチで診療する科であります。もう少し具体的に言いますと、脳・脊髄・末梢神経、さらには筋の疾患を診療いたします。脳などへ手術的アプローチをする脳神経外科に対して、内科的アプローチをする科として神経内科があるわけです。

神経の疾患はわかりづらいと言われます。神経系の異常から出現する症状が、なかなか臓器と結びつけづらいためと思います。たとえば、脳卒中で「足が不自由」となっても、「足の病気」ではないわけですから、ストレートにはイメージしづらいのだと思います。



神経内科で診る症状・病気

私たちが診ている代表的な症状を上げますと、
①認知症、意識障害などの高次な脳の機能障害
②四肢の麻痺、脱力、運動失調や不随意運動などの運動機能の障害
③しびれ、感覚の鈍麻などの感覚機能の障害
などです。

疾患名で言いますと①の認知症を呈するのはアルツハイマー型認知症、レビー小体型認知症など、また意識障害を呈するのは脳炎などです。

②の麻痺を伴いますのは脳血管障害、多発性硬化症などであり、運動失調の代表は脊髄小脳変性症ですし、不随意運動はパーキンソン病のふるえなどが多い疾患です。

また、③のしびれなどは脳血管障害や多発性硬化症、さらに糖尿病などに伴う末梢神経障害などが多い疾患です。

神経系の異常については、私たちの持っている知識・技術をすべて使って、診療して参ります。とは言え、神経系の疾患が疑われたら、そのすべてに対応を(したくは思っていますが)出来るわけではないことはご理解いただかなければなりません。

神経内科でできること・できないこと

私たちは帯広以东の道東地区で唯一の神経内科専門医の常勤する、神経内科です。患者は北は北見から、東は根室、西からは浦幌あたりまでの患者がやってきます。しかし、当院の常勤医はたったの3名です。上記の神経疾患のすべてに対応するには、やはりマンパワーが不足しております。

たとえば、いわゆる「自律神経失調症」はお力になれない疾患の代表です。現在、「自律神経失



神経内科 部長

つぎか かずふみ

津坂 和文

調症」は心気症を違う言い回しで表現するときに使われることが多いようです。また、狭義でも、「自律神経失調症」は不安やストレスなどをベースに自律神経の乱れ（動悸や体の火照り、あるいはめまい感）を呈するような状態です。つまりは自律神経そのものが障害されているわけではなく、心因による身体症状ですから、心因に対してのアプローチが望ましいわけであり、私たちの持っているノウハウはまったく役に立ちません。

同様に不安、抑うつなどをベースとする心因性の症状・疾患は、「神経疾患」ではありませんので、私たちの手に負えません。ぜひ精神科の先生のお力をお借りください。不眠などの睡眠障害も私たちではお力になれないと思います。

それから認知症ですが、診断は致しますが、入院での対応は難しいことがあります。病棟は一般病棟ですし、管理が困難となることが多く、鎮静剤などを使いますと入院によって患者自身にも家族にもつらい思いをさせてしまうことがあります。

そして、神経疾患を抱えた患者の、他臓器の合併症です。可能な範囲で、そういったことにも対応していきたいとは思っておりますが、なにせマンパワーの足りない中で診療しております。内科の先生たちの力もお借りすることもあるかと思っておりますので、よろしくお願いします。

それでも地域医療のため、 頑張ります

私たちは、月・水・金が再来日で火・木を新患日として診療しておりますが、可能な限り皆様のお力になれるよう努力して参りますので、新患日以外でも急ぎのことがあればできる限り対応いたします。また、お力になれない事態は必ずございますが、かといって「こういった患者はお断り」のような「患者の制限」なども、できる限りしたくないと思っています。「こういう症状は受診しない方が良いのかな?」とご遠慮なさらず、迷う症状については、どんどんご相談いただければと思います。

これからもよろしくお願ひします。



当院臨床研修 病院について

研修医

あおた
青田

りょう

凌

すいとう

水藤

たつき

達貴

たにぐち

谷口

よう

陽



\\ 研修体験 //

当院の研修の最大の特徴は

「研修医自らの手と頭を動かせること」です。

例えば内科研修では4月の入職後

1週間ほどで上部内視鏡を挿入、

救急患者さんの初期対応などが経験できます。

これだけ聞くといきなりで不安に感じるかも

しれませんが**必ず上級医のバックアップが**

あるので堂々と対応できます。

総合講座の様子



臨床研修病院
合同プレゼンテーションの様子



スキルトレーニングの様子



当院PR

研修医の数がそこまで多くないので一人当たりの症例数が豊富です。したがって研修医同士で症例の取り合いになることはありません。各科の研修では**研修医一人対上級医複数**となるので**指導は手厚く行っていただけます**。2年目の研修では**労災病院にはない診療科の研修がほかの釧路市内の病院で行えるので自分の目指す診療科にあわせて自由に研修を組み立てられます**。

緩和ケア研修会の様子①



緩和ケア研修会の様子②



Message

さまざまな研修病院があるなかで自ら手と頭を動かせるのが当院の研修の最大の特徴です。2年間の研修生活を釧路労災病院で過ごしてみませんか？ここではまだ語り切れないことがたくさんあるので、まずは病院見学にいらしてください。



外来診療科担当医師一覧表

科別診療体制	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	備 考	
内 科	1 診	高橋 惇	(研修医)	高橋 惇	音喜多 香貴	(研修医)	血液専門外来：月曜日～金曜日
	2 診	小田 寿	宮城島 拓人	宮城島 拓人	宮城島 拓人	小田 寿	腫瘍内科専門外来（完全予約制）：澤田（金曜日）
	3 診	細田 峻一	澤田 憲太郎	澤田 憲太郎	澤田 憲太郎	澤田 憲太郎	膠原病・糖尿病外来（完全予約制：13時から診察開始）
	4 診	西村 友佑	山田 隼	西村 友佑	澤田 憲太郎	山田 隼	膠原病・糖尿病：古川（出張医）第1・3・5水曜日
	5 診	渡辺 亮介	音喜多 香貴	渡辺 亮介	山田 隼	細田 峻一	糖尿病：西尾（出張医）第4火曜日
	6 診	杉村 駿介			細田 峻一	原田 晋平	IBD（炎症性腸疾患）専門外来（予約制）：月曜日
	7 診	IBD外来					※受診は「紹介状」が必要となります。
	8 診	千丈 創	原田 晋平	杉村 駿介	千丈 創	千丈 創	※急を要しない方は、事前予約にご協力願います。
神 経 内 科	1 診	津坂 和文	津坂 和文 (新患)	津坂 和文			新患 受付時間：8：15～11：00
	2 診		布村 董	井上 貴司	布村 董 (新患)	布村 董	診療体制：津坂（火曜日/午前）・井上（火曜日/午後）・布村（木曜日）
	3 診				井上 貴司	井上 貴司	再来（予約制）：津坂（月曜日・水曜日）・布村（火曜日・金曜日/午前）
	1 診	津坂 和文	井上 貴司 (新患)	津坂 和文			再来（予約制）：井上（水曜日・木曜日・金曜日）
	2 診		布村 董	井上 貴司			・月1回（第3火曜日）伊藤芳子（出張医）
	3 診				井上 貴司	井上 貴司	
循環器内科	1 診					出張医	かかりつけ患者のみ対応
	2 診					出張医	（紹介患者は受付不可となっております）
緩和ケア内科	1 診					出張医	出張医（鮫島 睦生、鮫島 八寿子）
	2 診					出張医	
外 科	1 診	小笠原 和宏	交代制	石黒 友唯	小笠原 和宏	中川 隆公	手術日：月曜日～金曜日
	2 診	小林 展大		加藤 紘一	中川 隆公	石川 昂弥	
	3 診	交代制		津坂 隼也	交代制	交代制	
整 形 外 科	1 診	加藤 琢磨 (予約外)	放生 憲博	放生 憲博	放生 憲博	加藤 琢磨	
	2 診	松居 祐樹	加藤 琢磨	松居 祐樹 (予約外)	松居 祐樹	赤石 直央貴 (偶数週)	
	3 診	赤石 直央貴 (奇数週)	横山 慎 (予約外)	校條 祐輔	校條 祐輔	校條 祐輔 (予約外)	
	4 診	横山 慎 (偶数週)	赤石 直央貴		横山 慎	横山 慎 (奇数週)	
	5 診				赤石 直央貴 (予約外)		
形 成 外 科	1 診					出張医	完全予約制（紹介状が必要となります。） ●外来診療のみ可能 全身麻酔を伴う手術・高頻度の経過観察を必要とする症例は対応不可
脳神経外科	1 診	伊藤 康裕		吉永 泰介		伊藤 康裕	手術日：火曜日・木曜日
	2 診	井須 豊彦	井須 豊彦 (予約)	井須 豊彦	井須 豊彦	(交代制)	(手術対応により、待ち時間が発生したり診察を早く終了する場合があります)
	3 診	磯部 正則	磯部 正則	磯部 正則	磯部 正則	磯部 正則	※手術日や受付時間外も「紹介・救急」は適時対応いたしますので、 お問い合わせください。
皮 膚 科						出張医 (予約)	他科入院中患者のみ対応可能 予約制、出張医（第3水曜日）
泌 尿 器 科	1 診	山本 祥太	篠原 信雄	佐々木 芳浩	佐々木 芳浩	佐々木 芳浩	月曜日～金曜日：新患・再来 予約制 3診は10：30から診察開始
	2 診	吉田 あゆ	佐々木 芳浩	吉田 あゆ	山本 祥太	吉田 あゆ	他科入院新患：緊急以外は火曜日・金曜日にお願います。
	3 診	佐々木 芳浩	吉田 あゆ	山本 祥太	吉田 あゆ	山本 祥太	血液透析：月曜日～土曜日 / 手術日：月曜日・水曜日・木曜日 ※救急の場合は、適時対応いたしますので、お問い合わせください。
婦 人 科							予約制：月3回
眼 科	1 診	佐藤 慎	佐藤 慎	佐藤 慎	佐藤 慎	佐藤 慎	原則、事前予約・紹介状が必要となります
	1 診	(手術)	(検査)	(検査)	(手術)	(検査)	月・木の午前受付は8:15~10:30
耳 鼻 咽 喉 科	1 診	3人で	3人で	3人で	3人で	交代制	3人 = 石井 秀幸・竹田 龍平・北南 和彦
	2 診	交代制	交代制	交代制	交代制	交代制	水曜日：完全予約制 / 手術日：火曜日・水曜日・金曜日
リハビリテーション科	1 診	(検査)	(手術)	(手術)	交代制	交代制	睡眠時無呼吸(SAS)外来（予約制）：金曜日（午後）
		(予約)	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)	
歯 科 口 腔 外 科	5 台	交代制	交代制	藤盛 真樹 金山 純一 角 伸博 渡邊 泰崇 竹治 凌佑	交代制	藤盛 真樹 金山 純一 角 伸博 渡邊 泰崇 竹治 凌佑	予約制 交代制 = 藤盛・金山・角・渡邊・竹治のうち2名が外来担当
	5 台	交代制	交代制	藤盛 真樹 金山 純一 角 伸博 渡邊 泰崇 竹治 凌佑	交代制	藤盛 真樹 金山 純一 角 伸博 渡邊 泰崇 竹治 凌佑	手術日：月曜日・火曜日・木曜日（午前） 月曜日・金曜日（午後） ・手術日でも外来診療を行っておりますが、手術の内容によって休診の場合があります。
放 射 線 科	1 診	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)	予約制：1診 放射線治療外来 米坂 祥朗
	1 診	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)	
麻 酔 科	1 診	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)	予約制（紹介患者のみ） 診療時間：8：15～8：45
消化器病センター		小笠原 和宏	宮城島 拓人	宮城島 拓人	小笠原 和宏	小田 寿	原則 紹介状持参のこと
女 性 外 来		担当医					予約制：月曜日 12：30～15：30 ※月1回 木曜日13：00～15：00（出張医：吉田）
禁 煙 外 来					小笠原 和宏		予約制：木曜日 15：00～16：00
頭 痛 外 来		磯部 正則	磯部 正則	磯部 正則	磯部 正則	伊藤 康裕	完全予約制（地域医療連携総合センターにて受け付けます） 初診時は基本的にMRI検査を行いますので、体内金属・閉所恐怖症等により 撮影困難な方は、予約時にご相談ください。

※臨時の休診が生じる場合がございますので、詳しくは病院ホームページ又はお問い合わせください



独立行政法人
労働者健康安全機構

釧路ろうさい病院

〒085-8533 釧路市中園町13番2号
TEL/0154-22-7191(代表) FAX/0154-25-7308

https://www.kushiroh.johas.go.jp

くしろろうさいびょういん 検索

